

| | | | |
|-----------------------|------|-------|------|
| 2023～ 精神保健福祉研究 | 単位数 | 履修方法 | 配当学年 |
| | 2単位 | SR | 1・2年 |
| | 担当教員 | 狩野 俊介 | |

■授業のテーマ

精神保健福祉領域（こころの病、こころの不調、こころの健康）におけるソーシャルワークの実践と研究について概観する。

■授業の目的

精神保健福祉領域における重要な知識や考え方、技術等を深めることを通じて、多角的視点・価値からソーシャルワークを含む対人支援のあり方について理解する。そして、それぞれの実践現場における実践上の適用可能性とともに、研究的観点からも検討できることを目指す。

■授業の到達目標

- ①精神保健福祉領域における重要な知識、考え方、技術等を理解し、ソーシャルワークの価値・理論との関連を説明することができる。
- ②精神保健福祉に関連する理論・概念を理解し、それぞれの実践現場における諸問題を解決するための有効な取り組みを示すことができる。
- ③精神保健福祉領域における諸問題の構造を捉え解決するための実践と研究についてデザインすることができる。

■授業の概要

こころの健康は、身体的・精神的・社会的に満たされた状態であることを意味する。これは、こころの病の有無によって規定されるものではないし、個人要因だけでなく個人の外部としての社会（環境）との接面から捉える必要がある。そこで本科目では、精神保健福祉領域における対人支援として、その対象をこころの病を有する人々に限定せず、またその実践や研究においてもソーシャルワークを基調としながら学際的な領域の取り組みに目を向けていく。また、精神保健福祉領域における課題について、個人と社会、その作用関係から捉える視点を基盤にして講義を進める。

■在宅学修

(1) レポート課題

| | | |
|----------------|--|--|
| 課題 1 (事前課題) | 精神疾患・精神障がいを持つ人々が抱える特徴を踏まえて意思決定支援が必要とされている背景を整理しなさい。そして、それを支援するための1つとしてあげられるクライシス・プランとソーシャルワーク実践との関連を多角的に論じなさい(3,000字程度)。 | 【提出期限】 <input type="checkbox"/> 対面授業1週間前まで <input type="checkbox"/> 対面授業前日まで <input checked="" type="checkbox"/> その他 (2回目のリモート授業の1週間前まで) |
| 課題 2 (事後課題) | この授業で学修した精神保健福祉領域における諸理論・諸概念・諸アプローチについて、あなた自身の関心に基づいて1つ以上取り上げて説明しなさい。その上で、それが自らの修士論文研究とどのように関連があるのか、今後どのように活用可能か具体的に論じなさい(3,000字程度)。 | 【提出期限】 <input type="checkbox"/> 対面授業後1ヶ月以内 <input checked="" type="checkbox"/> 受講年度の最終レポート受付日まで <input type="checkbox"/> その他 () |

【要確認】在宅での印刷教材等による学修の報告となる「レポート課題」の他に、オンデマンドを含むスクーリングでは「スクーリング事前課題」「スクーリング事後課題」が設けられています。スクーリング課題（予習・復習）がレポート課題1・2に相当する場合、それとは別に設けられている場合があります。この後に記載のスクーリングの項の各課題についても確認してください。

(2) アドバイス

課題1 アドバイス

在宅学修15のポイントにおける学修のテーマ1-3および7-9を参考にして、精神疾患・精神障がいの特徴や意思決定支援が必要とされている背景の理解を踏まえつつ、クライシス・プランの方法や理念とソーシャルワークとの関連について考察する。

課題2 アドバイス

在宅学修15のポイントを参考にして、自らの修士論文研究に引き寄せながら取り組む。修士論文研究に引き寄せることが困難な場合には、それとは異なる研究課題、自身のソーシャルワーク実践との関連でもよい。ただし、可能な限り自身の修士論文研究に引き寄せながら、具体的に考察する。

(3) 在宅学修15のポイント

| | 学修のテーマ | 学修内容(・キーワード) | 学びのポイント |
|----|-----------------------------------|---|---|
| 1 | 精神保健福祉領域における対人支援上の主要概念 | 精神的健康、リカバリー、リカバリーカレッジ、ピアサポート、実践と価値 | 精神保健福祉領域における対人支援上の主要な概念(リカバリー、ピアサポート、エンパワメント等)について学修する。 |
| 2 | 精神保健福祉と精神医療の動向 | 二重の不幸、障害者権利条約、強制治療(強制入院) | 精神医療制度に規定されている強制治療の内容とその課題について学修する。 |
| 3 | 精神疾患・精神障害とスティグマ | スティグマの構造、パブリックスティグマ、セルフスティグマ、交差性 | 精神疾患・精神障害を有することで付与されるスティグマについて学修する。さらに、複合的なスティグマについても理解する。 |
| 4 | 精神保健福祉領域における心理社会的療法 | IMR (Illness Management and Recovery)、WRAP (Wellness Recovery Action Plan)、ACT (Assertive Community Treatment)、IPS (Individual Placement and Support) 援助付き雇用、家族心理教育 | エビデンスに基づく心理社会的療法として、IMR、ACT、IPS 援助付き雇用、家族心理教育、当事者中心に用いられている WRAP の概要について理解する。 |
| 5 | 当事者研究と共同創造 (Co-production) | 当事者研究、共同創造 | 当事者研究の背景と概要、これに加えて共同創造について理解する。 |
| 6 | 精神保健福祉と司法精神医療制度 | 心神喪失者等医療観察法、多職種チーム、治療プログラム | 司法精神医療制度として運用されている心神喪失者等医療観察法制度の概要と、指定医療機関で実施されている治療プログラム等について学修する。 |
| 7 | 精神保健福祉領域における意思決定支援① | 事前の意思決定、クライシス・プラン | 精神保健福祉領域における事前の意思決定に位置づけられるクライシス・プランの概要について理解する。 |
| 8 | 精神保健福祉領域における意思決定支援② | 事前の意思決定、クライシス・プラン、共同意思決定 | 精神保健福祉領域における事前の意思決定に位置づけられるクライシス・プランの実践方法、その基盤にある共同意思決定 (Shared Decision Making: SDM) について理解する。 |
| 9 | 精神保健福祉領域における意思決定支援③ | クライシス・プランの実践事例 | 精神保健福祉領域でクライシス・プランを用いて支援した実践事例をもとに、その方法や有用性について理解する。 |
| 10 | 学校現場における精神保健の課題と支援:メンタルヘルスリテラシー教育 | 学童期・思春期における精神保健、メンタルヘルスリテラシー、アンチスティグマ | 学校現場における精神保健の課題と支援とともに、メンタルヘルスリテラシー教育(アンチスティグマ活動含む)の重要性について理解する。 |
| 11 | 小児期逆境体験とトラウマインフォームドケア | 小児期逆境体験、保護的体験、トラウマインフォームドケア | 小児期における逆境体験の影響と保護的体験の重要性について理解する。また、トラウマインフォームドケアの必要性について理解する。 |
| 12 | 社会的孤立とひきこもりの課題と視点 | 社会的孤立、ひきこもり | 貧困や社会的孤立等による精神保健への影響と社会的ひきこもりの実際と支援について理解する。 |
| 13 | アディクション(嗜癖と依存)に関する課題と支援 | 物質使用障害、リラブスプリベンションモデル、ハームリダクション | アルコール、薬物等の物質使用等によるアディクションの課題と支援について理解する。 |

| | 学修のテーマ | 学修内容(・キーワード) | 学びのポイント |
|----|----------------------------------|----------------------|---|
| 14 | 精神保健福祉実践としてのリフレクティング | リフレクティング、内的会話、外的会話 | 近年、精神保健福祉領域で注目されているオープンダイアログにも取り入れられている要素であるリフレクティングについて理解する。 |
| 15 | 精神保健福祉実践としてのアセスメントとケースフォーミュレーション | アセスメント、ケースフォーミュレーション | 精神保健福祉領域において用いられているケースフォーミュレーションについて理解する。 |

■スクーリング

(1) スクーリング事前課題 (学修時間目安：30時間以上)

2回目のリモート授業(授業計画10回中の7回目)の1週間前迄に、課題1に取り組んで事前提出をしてください。

(2) スクーリング授業計画

| | 授業の内容 | 授業の方法 |
|----|--------------------------------------|--------|
| 1 | 在宅学修15ポイントの1-3の動画配信とコメント票でのフィードバック | オンデマンド |
| 2 | 在宅学修15ポイントの4-5の動画配信とコメント票でのフィードバック | オンデマンド |
| 3 | 在宅学修15ポイントの1-5に関する解説と質疑応答 | リモート授業 |
| 4 | 在宅学修15ポイントの6-7の動画配信とコメント票でのフィードバック | オンデマンド |
| 5 | 在宅学修15ポイントの8-9の動画配信とコメント票でのフィードバック | オンデマンド |
| 6 | 在宅学修15ポイントの10の動画配信とコメント票でのフィードバック | オンデマンド |
| 7 | 在宅学修15ポイントの6-10に関する解説と質疑応答 | リモート授業 |
| 8 | 在宅学修15ポイントの11-13の動画配信とコメント票でのフィードバック | オンデマンド |
| 9 | 在宅学修15ポイントの14-15の動画配信とコメント票でのフィードバック | オンデマンド |
| 10 | 在宅学修15ポイントの11-15に関する解説と質疑応答 | リモート授業 |

(3) スクーリング事後課題 (学修時間目安：10時間)

・レポート課題の「課題2」について作成し、提出してください。

■評価の方法・基準

- ・課題1レポート (25%)、課題2レポート (25%)
- ・スクーリング (50%)

■参考文献 (*印=大学から送付される必読図書)

- *1) 狩野俊介、野村照幸編著『危機がチャンスに変わるクライシス・プラン入門—精神医療・保健・福祉実践で明日から使える協働プラン』中央法規、2024
- 2) 笠井清登、熊谷晋一郎、宮本有紀、東畑開人、熊倉陽介編著『こころの支援と社会モデル トraumainフォームドケア・組織改革・共同創造』金剛出版、2023
- 3) 綾屋紗月著『当事者研究の誕生』東京大学出版会、2023
- 4) 日本ソーシャルワーク教育学校連盟編著『最新精神保健福祉士養成講座 現代の精神保健の課題と支援』中央法規、2021